

八戸市文化協会会長賞

ヒマワリ

第三中学校 二年 田島 咲桜

私の家では春になると家族一人一人が好き
な花の種を選び植えている。初めは祖母が庭で
花や野菜を楽しそうに育てているのを見て私
も花を育ててみたいと思い始め、花を育てるこ
とで季節感を味わうことができて良いと思っ
た。今年は、父は金魚草、母はアサガオ、弟は
アスター、そして私はヒマワリを選んだ。私が
ヒマワリを選んだ理由は、夏らしく元気に咲く
花が良いと思ったからだ。昨年私は、アサガオ
を育てたが、あまり日に当てずに育ててしまっ
たせい、つるが細く、花も小ぶりで五、六輪
しか咲かずに終わってしまった。小学生のとき
に初めて育てたアサガオは、昨年育てたアサガ
オよりも多く花を咲かせていた。うすいピンク
や水色など花の一輪一輪が、とても大きく元気
いっばいに咲いていて、夏の暑い日でも涼しさ
を感じさせてくれた。しかし、昨年は日に当て
ずに水をやりすぎてしまい、育て方を失敗して
しまった。だから、今年選んだヒマワリは、し
っかり日光を当て、水もやりすぎないように気
をつけて咲かせたいと思った。

四月の始めの日曜日に、それぞれが選んだ花
の種をプランターに植えた。学校に行く前、毎
日水をあげて日光が当たるように気をつけて

育てた。私の中でヒマワリは、元気でとても明
るイメーজがある。小学生の時、南郷にある
ヒマワリ畑に初めて連れて行ってもらった時、
広い畑一面に黄色いヒマワリの花が一斉に同
じ方角を向いて咲いているのを見て、綺麗で生
き生きしていると感じた。

ヒマワリは、漢字で「向日葵」と書いて、太
陽の方向に向かって咲く花という意味がある
そうだ。「葵」には、四方に花が回りながら咲く
という意味もあり、太陽に向かって花の向きを
回転するというヒマワリの特徴から名付けら
れている。他にも「日車」や「日輪草」、英名で
は「サンフラワー」と呼ばれていて、どれも太
陽の光や空に向かって咲く姿をイメージして
名付けられていることを知った。ヒマワリの花
言葉には「憧れ」「あなたただけを見つめている」
「熱愛」などがある。

種を植えて十日ほどすると、ヒマワリの芽が
ひょっこりと顔を出した。そこからすくすくと
成長していき、この頃から栄養剤もあげ始める
ようになった。七月初めには、ヒマワリが綺麗
に花を咲かせた。毎日ちょうどいい量で水やり
をするのは大変だったけれど、やった甲斐があ
り、私は嬉しく思った。咲いたヒマワリは、と
ても美しく、まぶしい黄色で花も立派だった。
見ているだけで元気や勇気がもらえそうなヒ
マワリで、生き生きと咲いていた。このヒマワ
リを見て、私はこれからも、ヒマワリを少しで
も枯れないように、大切に育てたいと思った。

そして、来年も花を育てることになったら、毎
日しっかり世話をし、綺麗な花が咲くように
努力したいと思った。